

令和3年3月吉日

総社市立各小学校 校長様

そうじや食堂 くうねるあそぶ

代表 森川 哲也

### 令和2年度総社市市民提案型事業

そうじや食堂 くうねるあそぶ「見て聞いて 子どものみんなへ子どもだったみんなへ」  
テーマ「ふるさと」

### 山陽新聞記事掲載とＵＳＢメモリー寄贈のご案内

拝啓 春分の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

令和2年度総社市市民提案型事業ではご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。

さて、突然のご案内で恐縮ではございますが、この度、3月18日（木）山陽新聞 倉敷・総社圏版にて記事の掲載がございましたので1部添付をさせて頂きました。又、本事業の本（作品集）のＵＳＢメモリーも合わせまして寄贈をさせて頂きます。

令和3年度は総社市市民提案型事業ではございませんが、同様の事業をテーマ「かぞく」で行いますので、今後ともご理解とご協力の程宜しくお願ひ致します。

敬具

### 記

1.山陽新聞倉敷・総社圏版

2.ＵＳＢメモリー

### お問い合わせ先

そうじや食堂 くうねるあそぶ

代表 森川 哲也

電話 080-9137-1028

メール mrkw1028@ymobile.ne.jp

Kurashiki・Soja

# 倉敷・総社圏版

## 小学生の絵、言葉を本に

「ふるさと」テーマに公募



集まった作品を前に本を紹介する  
森川代表

総社・子ども食堂

市内で子ども食  
堂を運営する「そ  
うじや」を本にまとめた。市内

金15小の図書館に上冊

は、「ふるさと」  
を題材に市内の小学生  
から募集した絵や言葉  
をパックに浮かぶ備中

の国分寺五重塔や特産

の赤米神事の様子な

ど地域色豊かな30

点が収録されてい

る。8月には「家族」を

テーマに再び公募し、

本にまとめる予定。

(久万真穂)

1月に公募し、「ふ  
るさと」から連想する  
風景や言葉を自由に書  
いてもらつた。夕焼け

をバックに浮かぶ備中

の日桃、新本地区に残

る。8月には「家族」を

テーマに再び公募し、

本にまとめる予定。

(久万真穂)

わりに企画した。  
くわねるあそぶの森  
川哲也代表は「自分に  
どうしての『ふるさと』  
とは何かを考え、地域  
愛を育むきっかけにな  
ればうれしい」と話した。

ていいだ。

9月には「家族」を

テーマに再び公募し、

本にまとめる予定。

(久万真穂)

令和2年  
総社市市民  
提案型事業

そうじゃ食堂

くうねる  
あそぶ

見て聞いて  
子どもの  
みんなへ  
子どもだった  
みんなへ



## あそたのふるさとは どこですか？

みんなの思う「ふるさと」を自由に絵に  
描いたり気持ちを言葉にして書いて  
一冊の本(作品集)にしよう!!

応募者全員の  
作品を本(作品集)  
に市内の各小学校  
の図書室に一冊ずつ  
寄贈します！

フランスが  
ある公園！



## みんなのふるさと大募集！

### 募集内容

- ① テマ「ふるさと」に沿った絵や言葉
- ② 画材や色は自由
- ③ 作品は1人1点のみ(原則として返却しません)

### 応募資格

市内小学校 1年生～6年生

### 応募方法

裏面に作品を書き 学校名・学年・名前(ペンネーム可)を  
記入して担任の先生に提出して下さい

### 締め切り

令和3年1月25日(月)

### 後援

総社市社会福祉協議会

### お問い合わせ

そうじゃ食堂くうねるあそぶ・代表 森川 哲也  
E-mail: mrkw1028@ymobile.ne.jp  
TEL: 080-9137-1028



令和2年  
総社市市民  
提案型事業

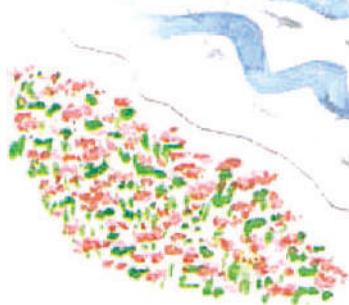
そうじゅ食堂  
くうねる  
あそぶ

見て聞いて  
子どもの  
みんなへ  
子どもだった  
みんなへ

テーマ

うさぎ 追いし  
こぶな 魚し大の川  
西は今もめぐりて  
おれがままふみと

ふみと



画

# ねえ矢口ってる？

みんなが暮らしている総社市には  
15校の小学校があるって。  
それから、およそ4000名の友達が  
勉強やスポーツをしたり  
美味しく給食を食べているって。  
入学や卒業、運動会や修学旅行。笑ったり怒ったり。  
色々考えていたら楽しくなってこない?なってくるよね!  
じゃあ、みんなが1つのテーマで絵を描いたり、  
気持ちを言葉にして一冊の本にしよう。  
その本は図書室にあるから  
いつでもたくさんの友達に会えるよ。  
子どものみんなが大人になっても。  
いつまでもいつまでも…。

そうじゃ食堂 くうねるあそぶ

代表 森川 哲也

令和2年度総社市市民提案型事業  
そうじや食堂 くうねるあそぶ  
「見て聞いて 子どものみんなへ子どもだったみんなへ」事業報告書

採択を頂きました、そうじや食堂 くうねるあそぶ 3周年記念イベント「子どもから命と愛について学ぶ」シンポジウムを新型コロナウイルス感染拡大の影響により、そうじや食堂 くうねるあそぶ「見て聞いて 子どものみんなへ子どもだったみんなへ」に変更致しました。

子ども達にコロナ禍だからこそエンターテイメントを届け、こども食堂の存在の豊かさを知って欲しい想いから本事情を計画し実行しました。

15校の小学校の4000名の生徒に説明と作品を描ける両面のチラシを配りました。1つのテーマに対して絵や言葉を募り評価はせず漏れなく掲載し一冊の本にしました。そして、15校の小学校の図書室に寄贈させて頂きUSBでデータをお渡しさせて頂きました。又、新聞掲載記事もお渡しさせて頂きました。テーマは「ふるさと」です。総社市OBの私が益々のふるさと総社市の発展には欠かせない「郷土愛」を育んで欲しいと思い、候補の中から決定しました。

2週間程の期間にもかかわらず308点の応募がありました。地域の特徴や普段の暮らし。子ども達にとって、ふるさと総社市は楽しい所・ずっと暮らしたい所でしょうか。今でもまともに作品を見る事が出来ません。それは、子ども達が描く姿や手を想像し感じるからです。感極まっています。

デジタルよりもアナログ。本を手に取り温もりを感じる。当こども食堂の想像以上の成果がありました。保護者の方や一般の方へ作品や本を見て頂けるよう検討致しましたが、現時点では当初の目標には達成したと満足しております。

ご理解とご協力を頂きましたすべての皆様に当こども食堂の代表と致しまして心よりのお礼を申し上げます。令和2年度総社市市民提案型事業に採択を頂きましてありがとうございました。

そうじや食堂 くうねるあそぶ  
代表 森川 哲也

令和2年度総社市市民提案型事業  
そうじや食堂 くうねるあそぶ  
「見て聞いて 子どものみんなへ子どもだったみんなへ」趣旨内容

こども食堂や学習支援等、子どもを主体とした居場所づくりが全国的に広がっています。そこでは他世代の交流があり、様々な社会問題の解決に繋がる地域の拠点として国や自治体が普及を目指しています。

「繋がり」この言葉が一番の課題であり、重要な要素です。

こども食堂の実践者になるまでは、市内に15校の小学校があり約4000名の生徒がいる事を知りませんでした。「郷土愛」この言葉は総社市OBの私が1番子ども達に託したい言葉です。益々のふるさと総社市の発展には欠かせません。

そこで15校の小学校と4000名の生徒を繋げる事を考えました。4000名に説明と作品を描ける両面のチラシを配ります。1つのテーマに対して絵や言葉を募り評価はせず漏れなく掲載し一冊の本にします。そして、15校の小学校の図書室に寄贈させて頂きます。来年度も再来年度もテーマを変え提案をさせて頂きます。今年度のテーマは「ふるさと」です。卒業をしても残ります。低学年の弟が、入学をした妹が、兄や姉や他校の生徒の作品を見る事が出来ます。ある意味15校共通の卒業アルバムにもなります。やがて子どもは大人になり自身の子どもが入学をしたならば、親の作品を見る事が出来ます。多くのコンクール等では評価があつたり作品は戻って来ません。本事業は残ります。受け継がれます。事業を重ねる事に知名度が浸透し応募者が増加して行きます。

市民が繋がり受け継がれる、本事業を宜しくお願ひ致します。

そうじや食堂 くうねるあそぶ  
代表 森川 哲也